

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.80	
	「3歳未満児保育」	32	4.69	
	「3歳以上児保育」	53	4.92	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.75	
	「健康・安全」	29	4.14	
	「子育ての支援」	18	4.94	
	「職員の資質向上」	8	4.75	
	計	171	4.71	
総合 評価	今年度は当たり前を一つひとつ見直すことで物事の意味について一から考える機会を大切に、大人もこどもも”考える”を重点的に取り組んできた。日々の生活が安心安全で心地良い環境が土台の中で、“個”を大切にした教育・保育をこども、保護者、職員、地域が一体となって取り組める環境づくりについて、計画（見通し）をもって進めてきた。保護者の皆様には参画いただく機会の中で、“個”が輝く姿に共感いただき、一人ひとりの素敵な姿を受け止めてくださるお言葉が印象的であった。 個々が良い相互作用の中で自己を発揮し生きる喜びを感じられる空間であるよう、対話的な環境づくりに努めていきたい。			

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
虐待を発生させない体制づくり	こどもと大人の人権について考える園内研修を実施し、チェックリストを用いた振り返りを行っていく（年2回）
環境問題への配慮	こどもたちとまたは職員がゴミ拾い活動を継続的に行いよりよい町づくりを考えていく（月1回）
学校との相互理解	小学校と交流内容やカリキュラムの検討などの話し合いを通して相互理解を図っていく（年3回）